

丁寧な熱心な作業も技術の一つです！！

ブローを1年間停止！！ どうしてこうなるの・・・？

当該dsp処理槽の調査依頼を受けたのは、2018年11月の1年前でした。
あれから、ちょうど1年、本年10月、dsp処理槽維持管理の委託を受けることとなりました。
1年間以上、ブロー停止・曝気停止の状態、ディスポーザー処理槽からの放流水は下水道に流されていました。



2018/11/13 調査 外庭に設置の dsp処理槽

処理槽開口部より臭気が漏れ漂い、近隣からの苦情の臭気を除去することができず、ブロー・運転曝気を停止していました。MHを開けると悪臭が鼻をつまむほどです。そのためMHは腐食し、臭気は少し漏れ出ていました。



2019/10/2改善措置 DSP・HVシステム導入

dsp処理槽が外庭にあり、
①酸素製造器格納庫に設置
②酸素溶解器を槽外に設置
③処理槽MHを気密性の高いMHに全部交換しました。
④処理槽内に堆積の未分解物を分解し、曝気・ブロー・運転を再開し正常運転に繋げることが、HV導入の目的です。



制御盤

制御盤は、ブロー「切」を表記しブロー停止中でした。

原水ポンプ及び放流ポンプは自動交互運転で、dsp排水は処理槽より溢れない、ギリギリの措置が施されていました。



DSP・HVシステム導入

①dsp処理槽を正常運転するために、一旦は高濃度酸素の注入で好気処理槽のDOを高めました。
②処理工程水から腐敗臭気が消えました。
③処理水は徐々に回復し、ブロー・曝気なしで法定水質基準値をクリアし正常運転となりました。



好気処理槽

槽内の汚水は腐敗し、ガスや臭気がで噴き出ている様子が見て撮れました。

分離槽

沈殿汚泥を返送する、エアリフトポンプが作動せずガスの発生と腐敗スカムが浮上し、臭気を発していました。



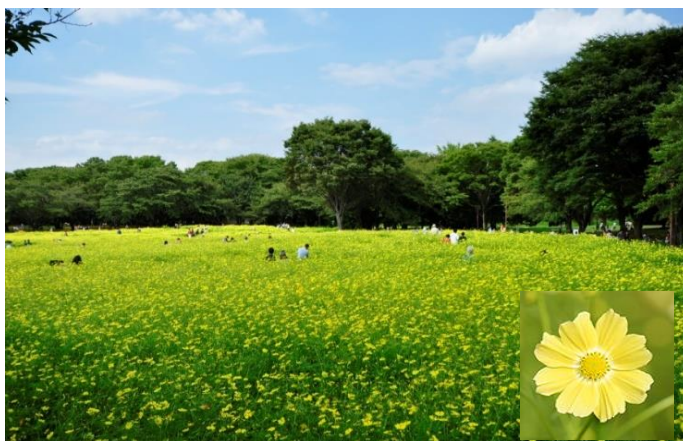
好気処理槽

写真下部が好気処理槽です。設置のポンプはHV循環ポンプです。写真の通り透明度があります。臭気も消えました。

分離槽

写真の上部は分離槽です。スカムスキマーは停止中ですが、スカムの浮上もなくなりました。臭気は全くありません。

水物語 No68 日本で生まれた秋桜、イエローキャンパスは見納めです！！



国営 昭和記念公園

コスモスはメキシコ原産ですが、漢字では「秋桜」と書き、日本の秋を代表する花です。イエローガーデンが開発される以前は、コスモスの花の色は真紅、ピンク、白などに限られていました。

1957年玉川大学農学部育種学研究室、佐俣教授が突然変異の株を発見し、その株を基に20年以上実験を繰り返し、1980年鮮やかな黄色いコスモス花の定着に成功しました。

1987年に種苗法に基づいて世界初の黄色いコスモス「イエローガーデン」として登録されました。

その後、更にはっきりとした黄色のコスモスが開発され「イエローキャンパス」という品種名で多くの人々の目を楽しませています。

イエローキャンパスは、咲き始めは白っぽく見えますが、気温が下がると黄色味が増すという特徴をもっています。

黄色い秋桜は、全国で見ることができます。東京では、昭和記念公園の秋桜が有名です。イエローキャンパスとキバナコスモスが約70万本、今月が見納めです。

汚泥ゼロ・臭気ゼロ！

DSPハイブリッドシステム推進中！

株式会社クリーンテックサービス東京